

【6】吉井地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい吉井のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成19年9月22日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは吉井地区にちなんだクイズや、大きな地区の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う吉井地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 自然が多く空気がきれい
- 大人も子どももよくあいさつをする
- 人が優しい

【気になるところ】

- ごみの投げ捨てや不法投棄が多い
- 子どもが少なくなっている
- 高齢者が増えている

\\ 皆さんも吉井地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう！ //

問1 平成9年に開催した「にこぼかフェスタ」において、旧吉井町では、長さ1,000mのかっぱ巻きを作り、世界記録(ギネス記録)に認定されました。さて認定された日はいつでしょうか？

- ①平成9年10月 ②平成11年2月 ③平成12年4月

問2 福井洞窟は、昭和35年に第1回目の発掘調査が行われました。この時の調査で発見された土器は何でしょうか？

- ①隆起線文土器 ②豆粒文土器 ③押型文土器

問3 直谷城がある内裏山や御橋観音裏の牧ノ岳は、周りが侵食されて残った「残丘(メーサ)」といいます。このメーサとはスペイン語なのですが、どういう意味でしょうか？

- ①迷路 ②机 ③椅子

※答えはP8の下にあります。

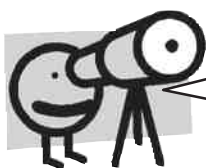


第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成19年10月20日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム
●気になり具合診断
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの意識が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

車が増えたので
歩く時に危ない



【“みんなにできること”の意見】

- 運転者、歩行者ともにルールを守る
- 夜間の歩行時には「夜行性」の目印ものを身につける

参加した皆さんの感想から

◎ 常々、不便なところだと不満ばかりでしたが、よいところも色々あることに気づかされました。

◎ 他の町内の人とのコミュニケーションが出来たのでよかった。みんなで協力することが大事だと感じました。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、吉井地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。



この“お茶の間トーク”での意見をもとに、推進会が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！